

# 平成15年度 分野チェックリスト

分野名	産業経済・区民生活分野		分野番号	4
分野担当部	区民生活部	関連部	保健福祉部	

## 杉並区政チェックリスト(政策指標)の変化

番号	指標名	単位	指標値			目標値	
			12年度	13年度	14年度	19	年度末
1	高齢者の就労率	%	(31.3)	34.3	(34.3)		
2	商店街の活性化度(従業員一人あたりの売上高)	百万円	(31.8)	(31.8)	32.3		増加させる
3	みどりの産業事業所数(農業を含む)	所	(22,043)	(22,040)	22,383		増加させる
4	若者に対するまちの魅力度	%	-	(81.3)	81.4		上昇させる
5	課税所得の平均値	千円	4,598	4,801	4,813		増加させる

指標の状況、定義は裏面をご覧ください。

## 杉並区政チェックリスト(政策指標)の変化の状況(分析)

- 3年に1度、介護保険計画見直しに伴う調査に基づく指標であるため、今年度は変化の状況を把握できない。
- 前回調査を行った平成11年度と比べ、雇用環境の悪化による従業員数の減少(3,002人)により、総売上額が減少(75,080百万円)したにもかかわらず、相対的に一人あたり売上高は増加の傾向にある。景気が回復基調となれば、一層の増加が見込まれる。
- 区内生産農家数は、減少傾向が続いており3年間で8件の減少となっている。一方で、区内総事業所数では増加傾向(348)であり、全体としては増加を続けている。この傾向は、今後も継続すると見込まれる。
- 区民意向調査による魅力度は80%を超えている。引き続き若者に対する魅力度を高めることで、まちの活性化を図っていく。
- この3年間の推移としては、納税義務者数は約4,000人、総所得金額は72,048百万円増加しており課税所得の平均値としても215千円増加している。現在の不況下においても、区民の課税所得の平均値は増加傾向にある。

チェックリストの状況(参考)

番号	名称	関連データ(他自治体との比較等)
	定義	
1	高齢者の就労率	同様な定義を用いている自治体はないので、他自治体との比較は困難。
	$60\text{歳以上の就労者} \div 60\text{歳以上の人口} \times 100$ (杉並区高齢者実態調査結果 3年に1回)	
2	商店街の活性化度(従業員一人あたりの売上高)	東京都全体 103.0百万円
	$\text{区内年間商品販売総額} \div \text{区内総従業者数}$ (東京都商業統計調査 3年に1回)	中野区 46.6百万円 豊島区 51.0百万円 板橋区 33.9百万円 練馬区 24.7百万円
3	みどりの産業事業所数(農業を含む)	全事業所数
	$\text{区内全事業所数} + \text{生産農家数}$ (東京都事業所・企業統計調査報告 3年に1回 外)	東京都全体 712,997所 中野区 15,536所 豊島区 20,677所 板橋区 23,608所 練馬区 24,133所
4	若者に対するまちの魅力度	同様な定義を用いている自治体はないので、他自治体との比較は困難。
	20歳代のうち「あなたは、杉並区のどの地域に最も魅力を感じますか」に「特に魅力を感じる地域はない」と回答した人以外の人の割合	
5	課税所得の平均値	中野区 4,225千円 豊島区 4,248千円 板橋区 3,908千円 練馬区 4,341千円
	$\text{総所得金額等(分離課税分含む)} \div \text{納税義務者数}$ (東京都市町村税の課税状況等の調査結果 第12表)	
特記事項		